

5-1 東海地域とその周辺地域の地震活動 (2002年5月～2002年10月) Seismic activity in and around the Tokai area (May, 2002 - October, 2002)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図(1)～(6)は2002年5月～2002年10月の東海地域とその周辺地域における月別震央分布である。また、第2図(1)～(2)には同期間の主な地震の発震機構解(下半球等積投影)を示す。なお、主な地震の発震機構解の震源マークの内、地殻内の地震を黒塗りとし、沈み込んだフィリピン海プレート内の地震を白抜きのマークとした。ただし、地震の選別は北緯 34.5° ～ 35.5° 、東経 136.0° ～ 138.5° の範囲に発生した地震に対し行なっている。

東海地域では岐阜県美濃中西部、静岡県西部、岐阜県美濃東部でM4クラスの地震が発生した。伊豆半島東方沖では2002年5月8日から15日にかけて伊豆半島東方沖で微小な群発地震活動があったが、その後は静かな状態に戻っている。伊豆諸島では三宅島近海～新島・神津島近海の活動は5月に新島・神津島近海でM4クラスの地震が発生したが、その後活動レベルは低下した。八丈島近海で8月から活発な活動があった。八丈島付近から八丈島西方沖へ地震活動の移動が見られた(最大M4.6)。周辺地域では茨城県沖で10月21日にM5.2の地震が発生し、茨城県北部、茨城県南部、鹿島灘、茨城県沖、千葉県北東部、千葉県北西部、千葉県南方沖、三宅島近海でM4クラスの地震が発生した。千葉県東方沖から千葉県南部にかけて10月にややまとまった活動があった(最大M3.8)。国土地理院のGPS観測によると、この地震活動とほぼ同時期に房総半島南東部で南東方向へ変位する系統的な地殻変動が観測された。また、京都府南部、福井県嶺北地方、滋賀県北部でM4クラスの地震が発生した。

各月の活動状況は次の通り。

5月：静岡県中部で16日にM3.6、19日にM3.3の地震がフィリピン海プレート内で発生した。岐阜県美濃中西部で12日にM4.1、愛知県東部で12日にM3.9、伊勢湾で12日にM3.2の地震がフィリピン海プレート内で発生した。伊豆半島東方沖(伊東市川奈崎沖付近)で8～15日に微小な群発地震活動(最大M1.9)があった。三宅島近海～新島・神津島近海で活動が続いており、新島付近で28日にM4.3とM4.4の地震が発生した。茨城県南部で4日にM4.1、千葉県北東部で4日にM4.6、千葉県北西部で19日にM4.6の地震が発生した。

6月：静岡県中部(静岡・山梨県境付近)で28日にM3.5の地震が陸のプレートとフィリピン海プレートの境界付近で発生した。愛知県東部で8日にM3.1、18日にM3.0の地震がフィリピン海プレート内で発生した。伊豆半島東方沖は静かな状態だった。伊豆大島近海で最大M3.6の地震を含む小規模な活動があった。三宅島近海～新島・神津島近海で活動が続いている。茨城県沖で26日にM4.1、30日にM4.1、茨城県南部で14日にM4.9、千葉県北東部で20日にM4.5、三宅島近海で25日にM4.2の地震が発生した。

7月：静岡県中部(静岡・山梨県境付近)で1日にM3.0の地震が陸のプレートとフィリピン海プレートの境界付近で、静岡県中部で7日にM3.1の地震がフィリピン海プレート内で、遠州灘で2日にM3.2の地震が地殻内で発生した。岐阜県美濃中西部で6日にM4.1の地震がフィリピン海プレート

内で、16日にM3.1の地震が地殻内で発生した。伊豆半島東方沖は静かな状態だった。三宅島近海～新島・神津島近海で活動が続いている。茨城県北部で27日にM4.5、茨城県南部で13日にM4.8、京都府南部で16日にM4.2の地震が発生した。

8月：静岡県西部(静岡・愛知県境付近)で11日にM4.3、静岡県中部で31日にM3.4の地震がフィリピン海プレート内で発生した。愛知県西部で16日にM3.1、23日にM3.4の地震がフィリピン海プレート内で発生した。伊豆半島東方沖は静かな状態だった。三宅島近海～新島・神津島近海で活動が続いている。八丈島近海で13日頃から、活動が始まりその後活発になった(最大は23日のM4.1)。茨城県北部で1日にM4.0、15日にM4.1、千葉県北西部で23日にM4.0、福井県嶺北地方で18日にM4.5の地震が発生した。

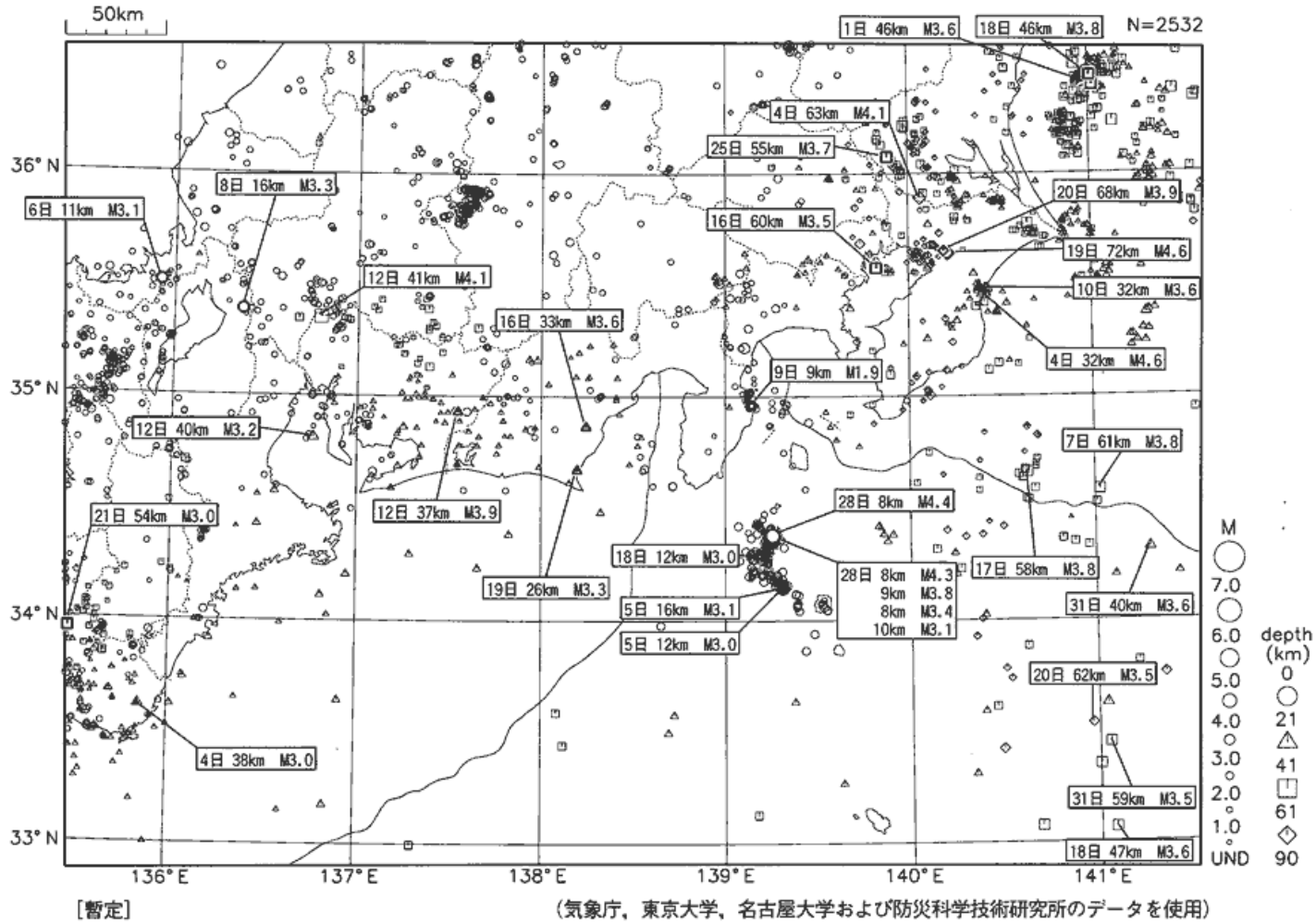
9月：山梨県中西部(山梨・静岡県境付近)で10日にM3.1、25日にM3.3の地震が発生した。静岡県西部で26日にM3.0の地震がフィリピン海プレート内で発生した。愛知県西部で1日にM3.2、30日にM3.0、岐阜県美濃東部(岐阜・愛知県境付近)で22日にM4.2の地震がフィリピン海プレート内で発生した。伊豆半島東方沖は静かな状態だった。伊豆諸島では三宅島近海～新島・神津島近海で低調ながら活動が続いている。八丈島近海で27日にM4.1の地震が発生し活動が続いている。千葉県南方沖で30日にM4.2、滋賀県北部で4日にM4.1の地震が発生した。

10月：駿河湾で25日にM3.4の地震がフィリピン海プレート内で発生した。愛知県東部で1日にM3.2の地震がフィリピン海プレート内で、愛知県西部で20日にM3.4、28日にM3.0の地震が地殻内で発生した。伊豆半島東方沖(熱海市沖)で、5～8日に微小な地震活動があった(最大M2.6)。三宅島近海～新島・神津島近海で低調ながら活動が続いている。八丈島近海で24日と28日にM4.6の地震が発生し活動が続いている。鹿島灘で13日にM4.2、茨城県沖で16日にM4.8、21日にM5.2、22日にM4.2、25日にM4.0の地震が発生した。千葉県東方沖で2日から8日にかけて深さ30km前後で活動があり(最大M3.8)、6日頃からは陸側の千葉県南部の深さ20km前後で活動があった(最大M3.2)。国土地理院のGPS観測によると、この地震活動とほぼ同時期に房総半島南東部で南東方向へ変位する系統的な地殻変動が観測されたが、この変動の原因は断層面上でのゆっくりした滑りであると推定されている。

2002年 5月 1日~31日

東海・南関東地域の地震活動 (2002年5月)

総数: 2531 個
M_≥3: 53 個



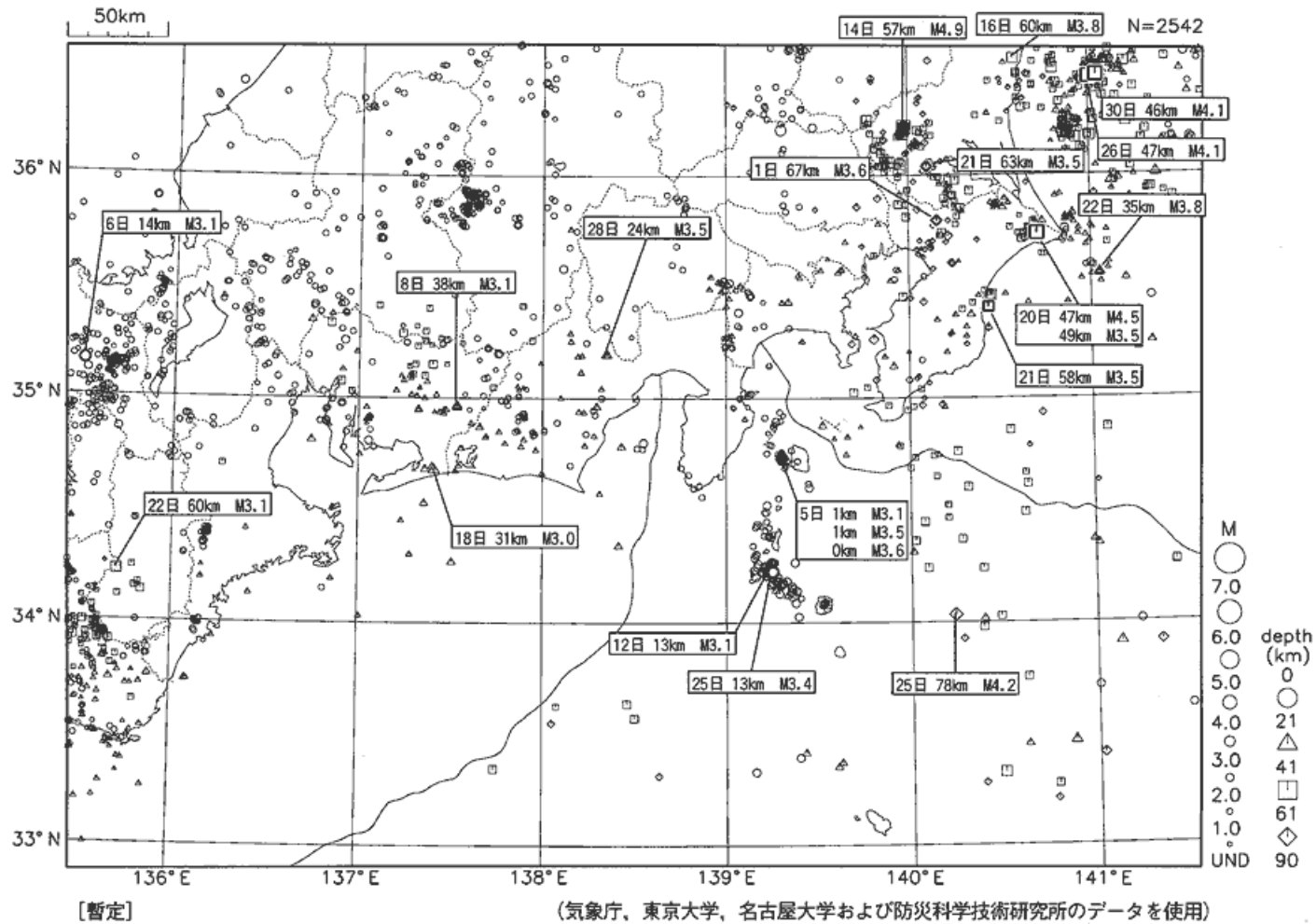
第1図(1) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (2002年5月)

Fig.1(1) Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (May, 2002).

2002年 6月 1日~30日

東海・南関東地域の地震活動 (2002年6月)

総数: 2542 個
M \geq 3: 50 個



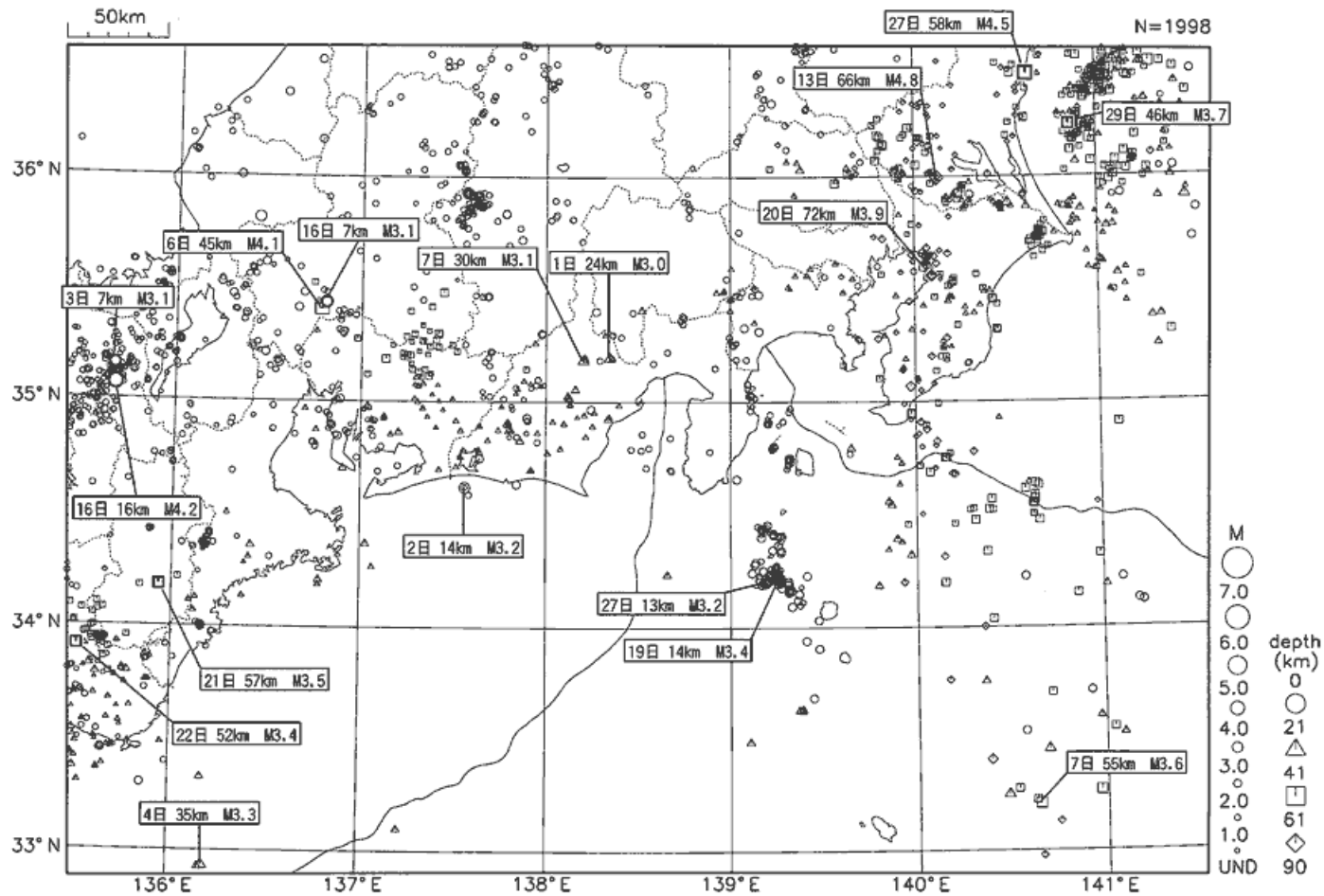
第1図(2) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (2002年6月)

Fig.1(2) Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (June, 2002).

2002年 7月 1日~31日

総数： 1998 個
M \geq 3： 31 個

東海・南関東地域の地震活動 (2002年7月)



[暫定]

(気象庁、東京大学、名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用)

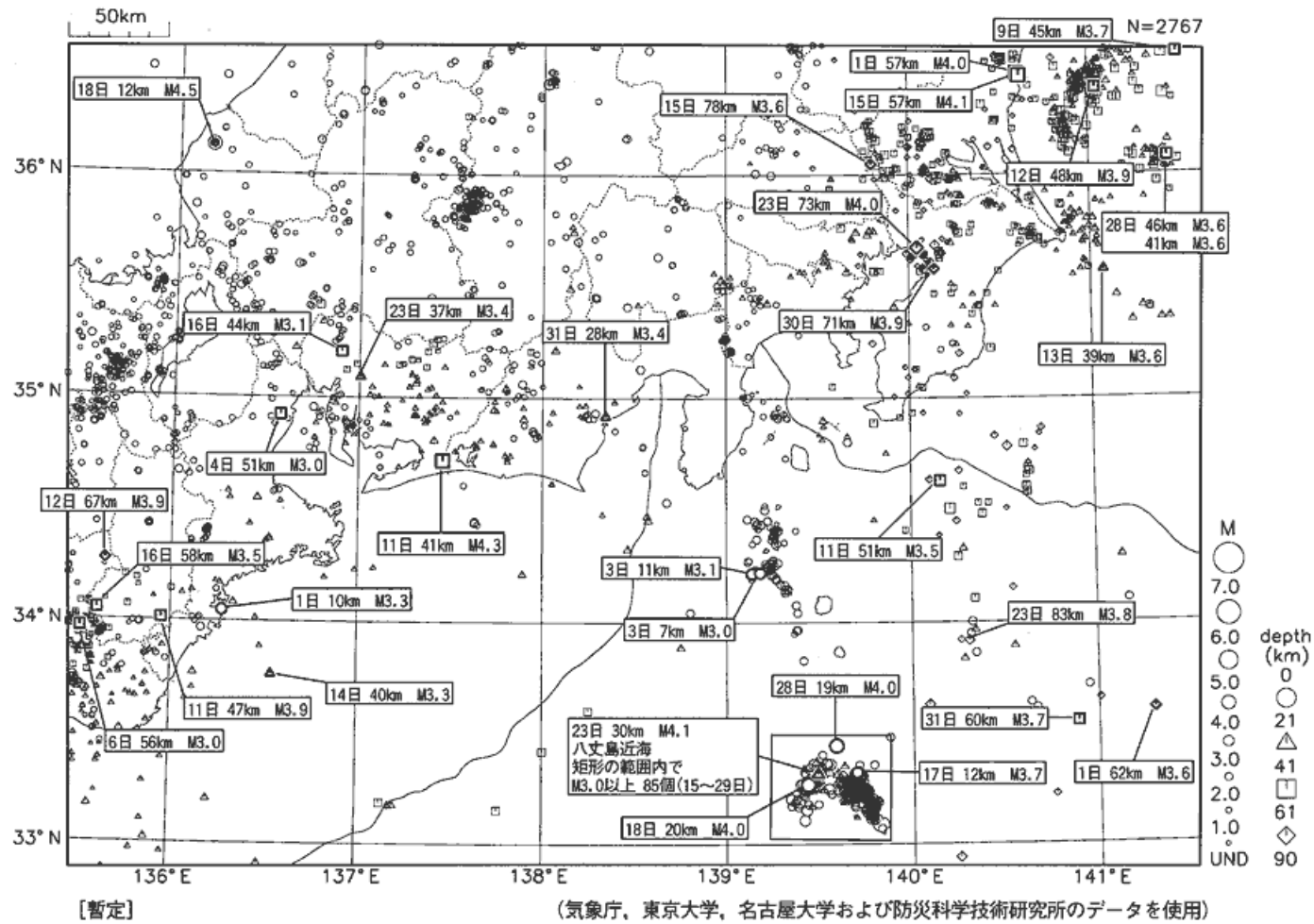
第1図(3) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布(2002年7月)

Fig.1(3) Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (July, 2002).

2002年 8月 1日~31日

東海・南関東地域の地震活動 (2002年8月)

総数: 2767 個
M \geq 3: 128 個



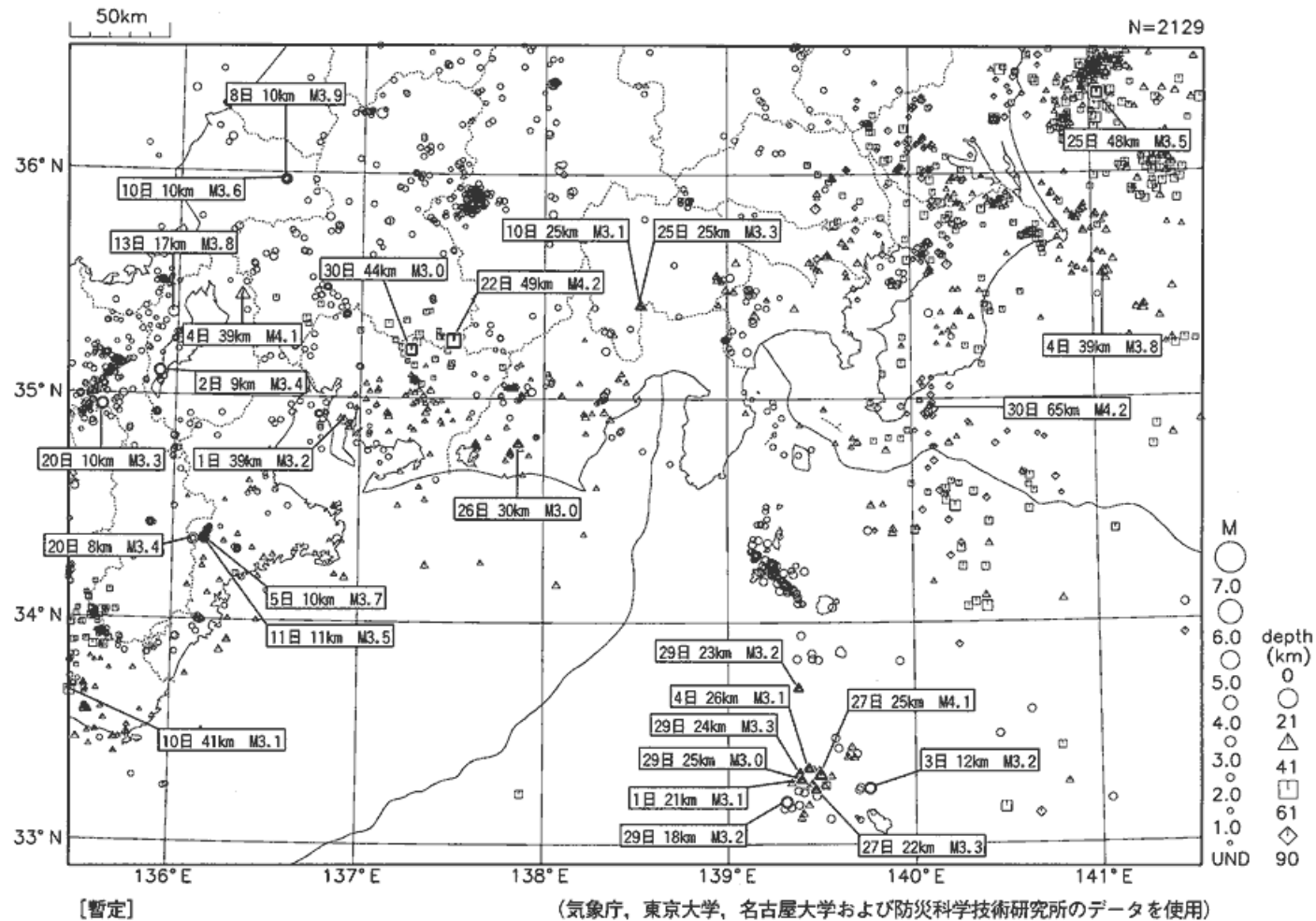
第1図(4) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布(2002年8月)

Fig.1(4) Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (August, 2002).

2002年 9月 1日~30日

総数： 2128 個
M_≥3： 53 個

東海・南関東地域の地震活動 (2002年9月)



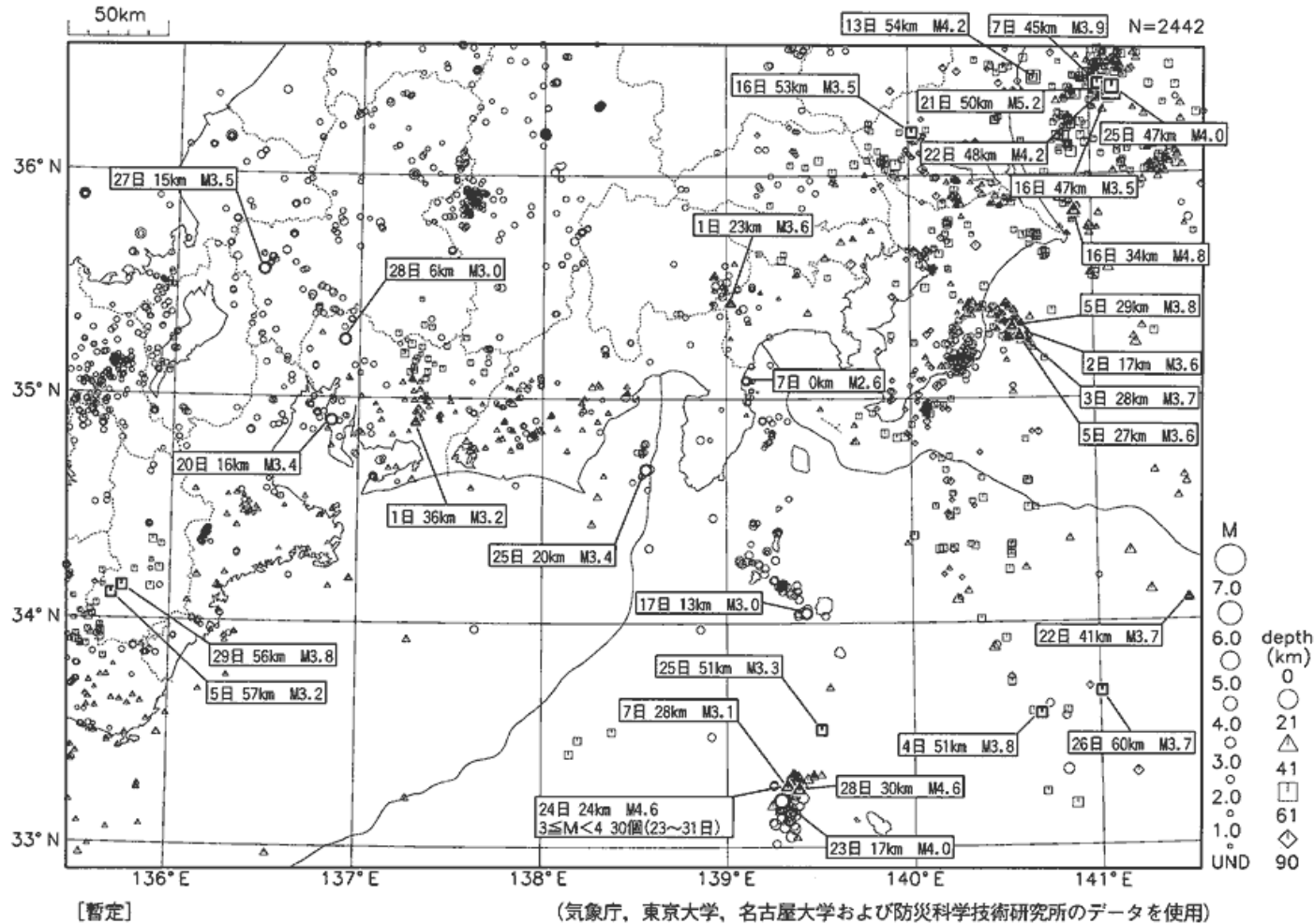
第1図(5) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布(2002年9月)

Fig.1(5) Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (September, 2002).

2002年 10月 1日~31日

総数： 2442 個
M \geq 3： 106 個

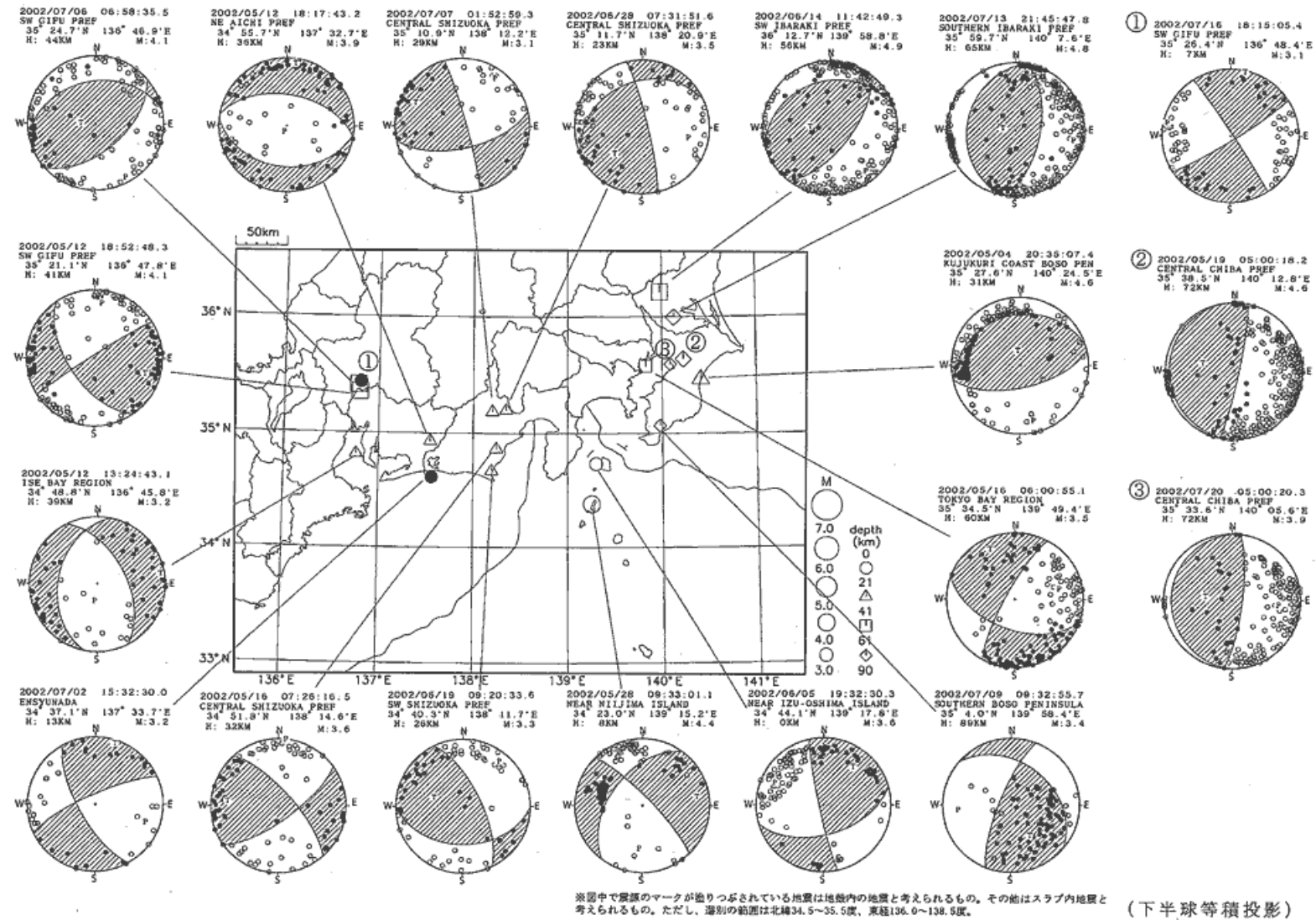
東海・南関東地域の地震活動 (2002年10月)



第1図(6) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布(2002年10月)

Fig.1(6) Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (October, 2002).

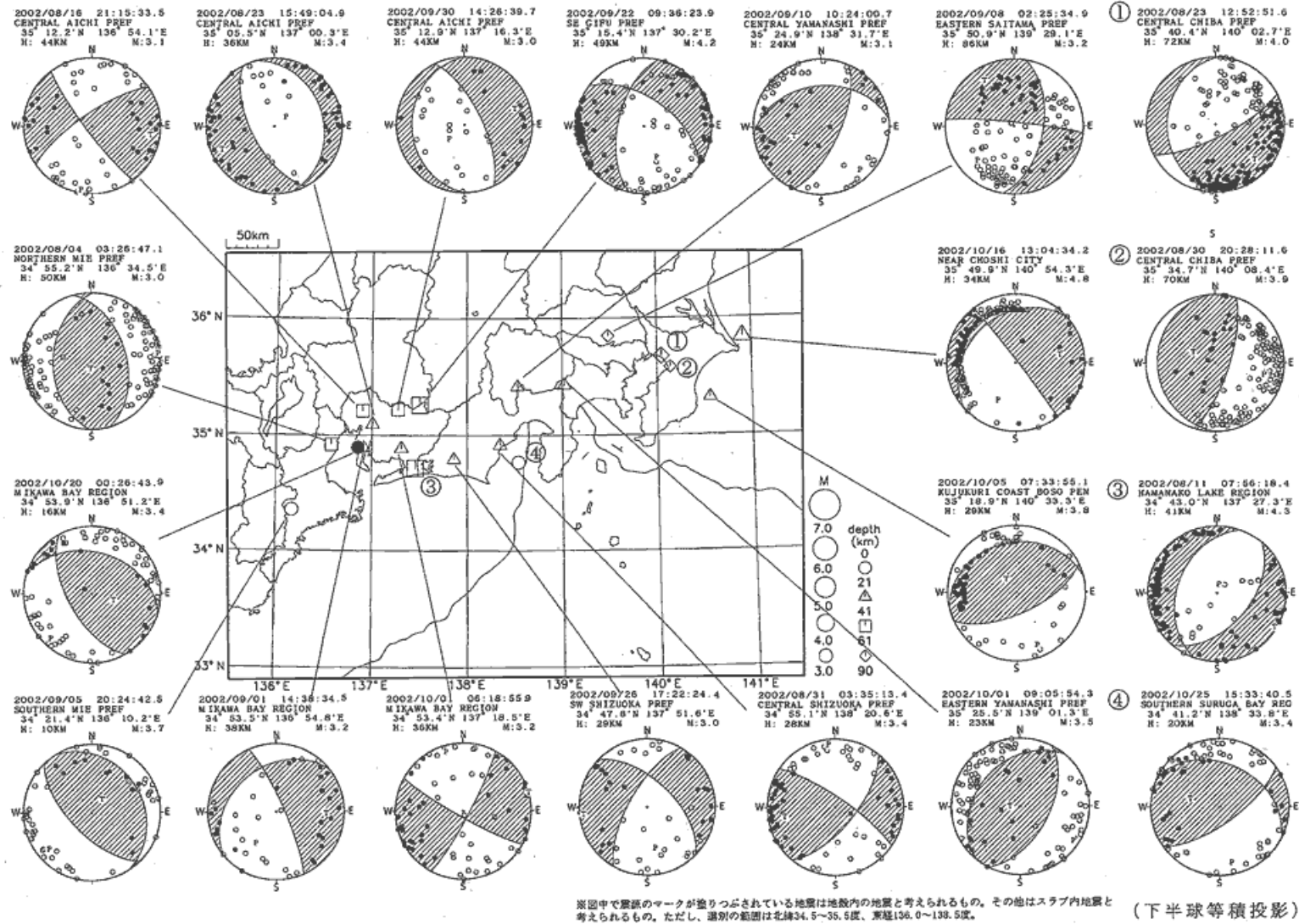
東海・南関東地域の発震機構解 (最近3ヶ月間) [暫定解] 2002年5月1日～2002年7月31日



第2図(1) 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解(2002年5月～2002年7月)

Fig.2(1) Focal mechanism solutions of prominent earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts (May, 2002 - July, 2002).

東海・南関東地域の発震機構解 (最近3ヶ月間) [暫定解] 2002年8月1日~2002年10月31日



第2図(2) 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解(2002年8月~2002年10月)

Fig.2(2) Focal mechanism solutions of prominent earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts (August, 2002 - October, 2002).